



情報① MIPS FLOPS CPI

【○× 例題】

- Q1. MIPSは大きい値の方が、性能が良い。
- Q2. CPIは大きい値の方が、性能が良い。
- Q3. MIPSは浮動小数点演算に関する値である。
- Q4. PCIはバスの代表規格であり、
PCI Expressはその後継規格である

【MIPS FLOPS CPIは英語の意味で暗記！】

MIPS / FLOPS

PS = Per Second = 1秒間あたりの処理能力

⇒ **大きい方が性能**◎

CPI

PI = Per Instruction = 1命令の処理にかかるCycle

⇒ **小さい方が性能**◎

【MIPSとFLOPSの違い 覚えることはたった1つ！】

MIPS

Million **I**nstruction **P**er **S**econd

= 1秒間あたりに何百万個の命令を実行できるか

FLOPS

= **F**loating-point **O**perations **P**er **S**econd

= 1秒間あたりに何回の浮動小数点演算を実行できるか

FLOPS は **浮動小数点演算**に関する値

【クロック周期数・周波数も**対比で暗記!**】

CPI

Cycles Per Instruction

= 1命令の処理にかかるCycle数 = **クロック周期数**

⇒ **小さい方が性能◎**

対比で暗記

⇔ **クロック周波数** = CPUが動く基本のテンポ

⇒ **大きい方が性能◎**

【CPIとPCI? PCIは**語呂で覚える!**】

CPI Cycles Per Instruction ⇒ **小さい方が性能◎**

PCI

Peripheral Component Interconnect

⇒ バスの代表的な規格

語呂

PCI (ピシッ)と時間通りに来るバス



PCI ExpressはPCIの後継規格 (高速バスのイメージ)

【○× 例題】

Q1. MIPSは大きい値の方が、性能が良い。 ⇒○

Q2. CPIは大きい値の方が、性能が良い。 ⇒×

Q3. MIPSは浮動小数点演算に関する値である。⇒×

Q4. PCIはバスの代表規格であり、



PCI Expressはその後継規格である ⇒○